

基本評価シート

様式

北海道標茶区域

(北海道釧路総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和5年度（2023年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（標茶地域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	釧路総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係
担当者名	竹田 理紗	担当者連絡先	0154-43-9154
捕獲実施事業者	北泉開発株式会社 <u>認定を受けている</u> 受けていない)	予算額（※2）	198,199,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	98,729,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
60頭	47頭	78%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
72万頭※ (個体数指数: 東部137、北部121、中部107、南部353)	東部: R8末に個体数指数50以下(H23を100) 北部・中部: R13末に個体数指数50以下(H23を100) 南部: R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
34,396頭(R4)	58,581頭(R4)	52,012頭(R4)

※令和4年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（紋別、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これ

鳥獣関係統計より

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和5年10月16日～令和6年3月15日（※委託期間）
実施区域	<p>標茶地域（川上郡標茶町五十石） 釧路湿原国立公園鳥獣保護区 釧路湿原国立公園</p> <p>当該区域は通年でエゾシカが確認されている。当該地は比較的積雪量が少なく、冬季には多くの足跡等の痕跡が確認できる。また、釧路湿原国立公園内においては希少植物が採食や踏み荒らし等の被害を受けており、周辺森林においても植生への被害が問題となっている。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所：希少種等の情報提供や捕獲事業の情報共有を図る。 ・林野庁北海道森林管理局：国有林内で実施する際の入林等手続き及び捕獲事業の情報共有を図る。 ・（地独）北海道立総合研究機構：捕獲手法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る。 ・地元市町村等：地域住民への連絡周知や地元関係機関との調整、捕獲事業の情報共有を図る。
事業の捕獲目標	<p>（78%達成） ＝（47実績値）／（60目標値）</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>【わな猟】</p> <p><input type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※1：各種猟法の定義は○ページ参照、※2：複数チェック可</p>

捕獲個体の確認方法	<input type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など） <input checked="" type="checkbox"/> 写真（証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、また GPS 機能付きのカメラ（スマートフォンを含む）で撮影し、データも併せて添付する。） <input type="checkbox"/> その他（ ） ※複数チェック可。
捕獲個体の処分	捕獲個体の処分について <input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	わなによる錯誤捕獲について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。 わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：ライブカメラ映像を見ながらのゲート操作により、これまで錯誤捕獲されたことはない。） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。 鳥類の鉛中毒等について <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。 鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図、周辺住民等に対する周知体制、及び事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制等を記載させた。 捕獲事業の実施にあたっては、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について市町村等関係機関と調整会議を開催し、地域住民等にチラシを配布するなどにより周知を図らせた。 捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした上で、必要に応じ関係者以外の立ち入りを規制した。 また、施設に立ち入る可能性のある経路に立入禁止の看板を設置し、従事者のみならず、地域住民等の第三者の安全の確保に努めるとともに、労働安全衛生法等関係法令に基づく措置を講じた。特に、本業務は冬期間に実施されることから、事前に天候等の情報を入手し、移動時も含めて事故等の無いよう十分な装備と計画のもと実施させた。
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数：4人 （内訳） 正規雇用者：4人、期間雇用者： 人 日当制： 人

3. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	評価：目標頭数に及ばなかったものの、放牧地及び民家周辺に現れる個体の捕獲ができたことで、農業及び生活環境被害防止になったと考える。
	改善点：生息数調査などによって適切な囲いわなの設置場所及び捕獲目標数を見極める必要がある。
【実施期間】	評価：国立公園区域内での捕獲であったこともあり、関係機関との調整に想定以上の時間を要し、囲いわなへの馴化期間及び誘引期間を十分に確保することができなかった。
	改善点：悪天候によって囲いわなを補修する必要が生じたことや、機材トラブルによって捕獲ができないことが何度かあった。想定外の事態も考慮して捕獲期間をさらに延ばすことも有効であると考ええる。
【実施区域】	評価：標茶町五十石において捕獲事業を実施した。捕獲実施前後行った現地踏査や生息状況調査では、いずれの時期も採食被害や糞害等が確認されたほか、カメラで20～30頭程度のエゾシカが確認されたため、実施区域として適切であったと考える。
	改善点：自動撮影カメラや現地踏査を踏まえ、効率的な捕獲見込まれる捕獲箇所について関係機関を交えて検討する必要がある。 また、実際に当該区域及び周辺地域への影響が緩和されているか継続して調査及び評価し、捕獲実施による効果を検証する必要がある。
【捕獲手法】	評価：当該区域は国設鳥獣保護区内であり狩猟や許可捕獲の実施が困難なこと、早朝と夕方にエゾシカが集まることから、囲いわなを使用がすることで効率的に捕獲することができた。 また、生体捕獲した個体は有効活用することができた。
	改善点：囲いわなでの実施は適切だったと考えるが、当該区域は野犬がいる地域であったことから、囲いわな周辺で撮影されることが多かった。エゾシカが警戒している様子がなかったため野犬の捕獲等を行わなかったが、同じような状況の地域で捕獲事業を行う場合、対策について検討する必要がある。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：過年度に実施した本事業と同様に、高い捕獲技術を有する認定鳥獣捕獲等事業者が受託したことから、十分な体制であったと考える。
	改善点：同じ業者が受託することが多く、捕獲手法に幅が少ない。
【個体処分】	評価：有効活用可能な個体は一時養鹿施設へ搬送され、適切に処理された。

	改善点：今後、一時飼養施設に搬送ができない状況においても、より多くの個体が有効活用されるよう、受託者と有効活用業者との連携を深めていく必要がある。
【環境配慮】	評価：固定カメラ設置型の遠隔操作が可能な捕獲装置を使用したため、錯誤捕獲や騒音等はなく環境への支障は生じなかった。
	改善点：今後も同様の配慮を継続する必要がある。
【安全管理】	評価：近隣住民への事前周知、現地入口等での注意看板設置及び捕獲従事者の事前打ち合わせ等に加え、狩猟事故防止のため改めて安全確認を行うことで安全管理体制を確保した。
	改善点：引き続き検討を重ね安全対策を実施するとともに、新たな捕獲手法を実施する際には、適切な安全管理体制を構築する必要がある。
3. その他の事項に関する評価及び改善点 当該区域は狩猟や許可捕獲の実施が困難であり、捕獲が実施されていないことから、エゾシカの生息数が今後さらに増加する可能性がある。当該区域及び周辺地域への影響を継続して調査し、今後の状況を把握する必要がある。	
4. 全体評価 今年度は釧路湿原国立公園国設鳥獣保護区内及び釧路湿原国立公園内で捕獲を行った。目標頭数には及ばなかったものの、捕獲実施箇所付近に生息していたと思われる個体については捕獲しており、農業及び生活環境被害防止という事業目標は概ね達成したものと認識している。 今後は自動撮影カメラや現地踏査によって効率的な捕獲見込まれる捕獲箇所について検討し、捕獲期間をさらに延ばすことで目標頭数を達成する可能性が高まると考える。	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

<p>市町村による許可捕獲（有害駆除）等が実施されていない箇所でも集中的に実施したことにより、生物多様性への影響の軽減、周辺地域の農林業被害及び道路への出没を軽減させるほか、エゾシカの逃避地を作らせないことによる地域全体の捕獲効率向上を期待している。</p> <p>今後は、例年行っている自動撮影カメラによる生息状況調査等の結果を踏まえて、さらに効果的なエゾシカ対策の推進を検討していく予定。</p>
--

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
----	------	----

①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報（ 	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 （わな稼働日数＝わな基数×稼働日数）	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※¹： _____ 人日

事前調査人日数概数※²： _____ 人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 人日

項目	令和5年	令和4年	増減の傾向
----	------	------	-------

	(事業年度の値)	(前年度の値)	
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	人日	人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： 107 人日

事前調査人日数概数※2： 7 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 100 人日

項目	令和5年 (事業年度の値)	令和4年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基 ×日数）	107 基日	110 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和5年 (事業年度の値)	令和4年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日	頭/人日

			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

③ わなによる捕獲

項目	令和5年 (事業年度の値)	令和4年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	47 頭	37 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
② 雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	0.87	0.92	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③ 幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	0.28	0.22	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input type="checkbox"/> くくりわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな	47 頭	107 基日	0.45 頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 44 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、生体で捕獲した個体については、捕獲頭数がわかるように捕獲時の全景に、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

捕獲した個体の処理については、発注段階から受入予定先を明記し、受託者が有効活用事業者と調整しながら捕獲事業を実施することとしており、納入結果についても報告させている。